

平成25年度 第2回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成25年11月14日(木) 午前10時～午前11時40分
会 場	中央公民館1階 講座会議室
出席者	<p>上野会長、梅田副会長、塘委員、内海委員、宮田委員、中村委員、大鷲委員、高野委員、長谷川委員 9名</p> <p>増山教育部長</p> <p>加藤館長(中央)、倉石館長(東)、星野館長(西)、加納館長(南)、石丸館長(北)、竹内館長(下蕨)、岡本館長(旭町)、松永係長(中央)、安部主事(中央)</p> <p>小松次長(教育部次長兼生涯学習スポーツ課長)、鈴木生涯学習振興係長</p> <p style="text-align: right;"><合計> 21名</p>
欠席者	松原委員、大貫委員、菊池委員、園川委員、榎本委員、小澤委員
添付資料	<p>1、地区生涯学習フェスティバルの報告</p> <p>2、平成25年度 事務事業点検評価結果報告書</p> <p>3、平成25年度 蕨市教育行政の重点施策及び事業計画</p> <p>4、平成25年度 生涯学習活動推進事業について</p>
会 議 内 容	
<p><公民館運営審議会></p> <p>午前10時</p> <p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上野会長あいさつ ・増山教育部長あいさつ <p>3. 前回会議録の承認</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区生涯学習フェスティバルについて <p>資料1 『地区生涯学習フェスティバルの報告』に基づき、東公民館長から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務点検評価の結果について <p>資料2 『平成25年度 事務事業点検評価結果報告書』に基づき、中央公民館長から説明</p> <p>会 長：A 評価が多いのは嬉しいこと。私達委員も今後維持していくよう努力していく必要がある。</p> <p>委 員：評価が高いのは素晴らしいことである。検討課題等が外部からの評価で見えてきた。公民館運営審議会委員の立場から、今後さらに地域に貢献していけたらと思う。</p> <p>委 員：各地区によってフェスティバルの特色が違うことがよくわかる。</p> <p>委 員：複数のフェスティバル会場に顔を出したが、子どもが中心のと</p>	

ころと大人対象のところと参加者層の違いがあることが分かった。

委員：音楽を広めるために若い人を取りこんでいけたらよい。

外部評価の人選はどうしているのか。

事務局：1人は専門家、もう1人は市民の代表としてPTA連合会の会長にお願いしている。

委員：2人よりももっと多くの人に聞いた方がよいのではないか。

委員：地区生涯学習連絡会についての「残された課題」にあるように、各地区のコミュニティ委員会や公民館クラブ協議会の構成メンバー、会議議題等が重複しがちである。こうした組織のすみ分けをはっきりし、機能の強化をはかっていく必要があるのではないか。

事務局：各組織は人づくり、地域づくり等全く別の目的のもとにつくられているが団体選出の関係で代表者が重複してしまう場合がある。

会長：地域課題は重複しないとまとまらない面がある。組織同士のすみ分けはできていると感じる。

委員：事務事業点検評価について、第三者が入り、客観的に見られるのはよいことだ。現場の生の声を聞いて取り上げて改善してもらえたらよい。

委員：平日の午前中に開催されている家庭教育支援について、その時間帯に行けないお母さんのために開催曜日、時間帯を検討してもらいたい。

年代の違うお母さん同士の交流、お父さんのための講座もやってもらえたらよい。

委員：フェスティバルは各地区で特色があってよい。事務事業点検評価の残された課題にあるように、新たな利用者層の掘り起こし等、より一層の発展をお願いしたい。

(2) 協議事項

- ・平成26年度事業計画（案）策定に向けてのご意見について

資料3『平成25年度 蕨市教育行政の重点施策及び事業計画』に基づき、中央公民館長から説明

委員：たくさんの人の協力のもと、講座が成立している。いろいろな人に声をかけて参加してもらおうとよい。

委員：高校生の居場所づくり事業について、ボランティア活動のほかには何かあるか。

事務局：高校生の居場所づくりはどこの公民館にとっても課題である。中央公民館においては勤労青少年ホームと複合施設ということもあり、市外在住者だが蕨高校生の利用もある。大学生の青少年活動も少しだが広がっている。

東公館長：高校生の時期に生涯学習に目を向けてもらう事業も必要。塚越地区ではフェスティバルがそれにあたる。

会 長：全体としては難しい課題であるが、重点目標として掲げていてもらいたい。

委 員：青年層を取り込んでいく工夫をしていったらどうか。

旭公館長：蕨駅に近い旭町公民館では、通勤等で駅を利用する青年層にも参加しやすいように平日夜間や土日にも講座を設けている。まだ青年層を地域活動につなげていくことはできてはいないが、まずは青年層に来館していただくことが第一であると考えている。

委 員：10月にわらび山荘で行った音楽コンサートの参加者は、普段公民館のコンサートに来ている方と異なる方たちであり、下蕨公民館で音楽を地域に広める活動をしていることを知らない人が多かった。何かをきっかけにして横のつながりを作っていくことができれば発展につながると思う。また、楽器を常設すれば夢が広がる。

委 員：公民館活動は男性が少なく、特に高齢男性の参加が少ない。高齢者とその孫のおしゃべりの場等があれば良いのではないかと。先日、小学生を対象に行われた職業体験の催しも良かった。

会 長：ミニキッザニア（子どもたちが興味のある仕事にチャレンジして楽しみながら社会の仕組みを学ぶイベント）を地域の企業、関係団体との協働事業として、蕨市全体でやればよいのではないかと。

中公館長：先日、商工会議所の主催で行われた職業体験のイベントには、蕨パソコン支援隊の協力を得て、中央公民館でもコーナーを設けた。内容は、名刺作りと交換の仕方を学ぶものであったが、たいへん好評で次年度以降も企画していきたいと思っている。

委 員：事業の開催時間、日程について、子育て世代のお父さんが参加できるもの、お父さん同士のつながりが持てるものを検討していただきたい。

会 長：一つの講座を午前中と夜間の2コース行ったらどうか。夫婦でそれぞれ参画し、家庭で話し合えることもよい。

委 員：南町地区のフェスティバルでは一中のボランティアの生徒が10人ずつ2日にわたって喫茶コーナーに協力してくれた。お年寄りにも優しく、良く働いてくれ、ボランティアを通じて公民館の催しにも興味を持ってくれた。このような感じで今後は高校生にもボランティアに協力してもらうようにしてはどうか。

会 長：塚越地区のフェスティバルでは、地元武南高校を会場にオープ

ニングセレモニーを行い、東中吹奏楽部の協力を得て演奏会も行われた。

東公館長：武南高校は地域とのつながりを持つと積極的にあり、生涯学習にも目を向けていると感じられた。

委員：いかに60歳以上の高齢者を誘い込むかも大事である。

委員：高齢者の豊富な知識、経験を若い人と交流する機会等を持たせることで、地域に還元できるようにしてもらいたい。

生涯スポーツ課長：

次に継いでいくことが一番大事。いかに若い人を巻き込むか、学びを通して子どもたちに伝えていくことが必要。ひとつでも支援の努力をしていきたい。

(3) その他

・生涯学習活動推進事業について

資料4『平成25年度 生涯学習活動推進事業について』に基づき、中央公民館長から説明

会長：60年の歴史を大切にしながら次につなげていく。様々な意見を集約して、どう行うか検討中である。ご協力をお願いしたい。

・各公民館長より

南公館長：中学生のボランティアは一中よりフェスティバル直前にあった話。このような動きがあるだけでも成果。今後学校とも相談しながら続けられるものは続けていく。

北公館長：新しく事業を行う際には現在ある事業の見直しも必要である。取捨選択しながら進めていく。

西公館長：市民の方の声は貴重である。今後、見直しをしながら進めていきたい。

下公館長：下蔵公民館では今年度、「時代を読む」をテーマにして事業を行っている。自治会との共催で介護の講演会も行った。今後は障害者団体、地元企業との共催も考えている。

旭公館長：多世代の交流として来年1月より月1回で居場所づくり、交流の場を考えている。

東公館長：次世代に関することを重点にとらえている東公民館では「つなぐ」をキーワードに地域の人を講師にしたものを行っている。今日のご意見でさらに活性化した事業を組んでいきたい。

中公館長：公民館活動は地域によって違う。地域の良さをいかしていけたらよいと思う。

教育部長：活発にご意見を出していただき、お礼申し上げます。今日の意見を最大限にいかしていきたい。時代が変わっても公民館活動の基本的目的は変わらないと感じる。

会長：今日はたくさんの意見が出た。委員、職員一体となって事業

を行い、人づくり地域づくりに役立てていきたい。

5. 閉会 副会長挨拶